

はかた匠芸 (3610)

2015/12 通期は下方修正で一転赤字見通しへ

TOKYO PRO MARKET | 専門衣料製造小売 | 業績レビュー

BLOOMBERG 3610 JP | REUTERS 3610.T

- 2015/12 期 1H (1-6 月) は売上高が前年同期比 89.0%増の 306,529 千円と大幅増収。営業損失は 28,098 千円 (前年同期は営業損失 50,801 千円)、経常損失が 29,169 千円 (前年同期は経常損失 50,670 千円)、中間純損失が 29,623 千円 (前年同期は中間損失 57,894) と赤字継続となったが、何れも前年同期から赤字幅が大幅に縮小した。
- 2014/4 に東京銀座、京都祇園で開業し、経営の重点施策としてきた男きもの専門店「SAMURAI」の男きもの事業で営業損失を計上。一方、レディース和装事業は受注が好調だったものの営業活動経費の増加や受注時期の遅れから営業損失を計上した。
- 2015/12 通期の会社計画は、2015/12/18 に下方修正を発表。売上高は前期比 46.8%増の 775 百万円と従来計画を据え置いたが、営業損失は 24 百万円 (前期営業損失 119 百万円)、経常損失 26 百万円 (同 119 百万円)、当期純損失 26 百万円 (同 134 百万円) と従来の黒字計画から一転して赤字予想となった。

What is the news?

2015/12 期 1H (1-6 月) は東京銀座や京都祇園で出店した男きもの専門店「SAMURAI」の事業推進を経営の重点施策と位置づけ、宣伝広告・販売に注力したが受注が予想を下回り、売上高が前年同期比 6.4 倍の 30,222 千円と大幅な増収となったものの、営業損失は 18,025 千円と前年同期の 7,975 千円から赤字幅が拡大した。一方、レディース和装事業は新製品の投入で受注状況が好調で売上高は同 75.4%増の 276,307 千円となったが営業活動経費の増加や受注時期の遅れにより、営業損失 10,072 千円 (前年同期は 42,825 千円の赤字) の赤字となった。

How do we view this?

同社は、2015/12/18 に 2015/12 通期の会社計画の下方修正を発表。売上高は前期比 46.8%増の 775 百万円と従来計画を据え置いたが、利益は従来の黒字計画から一転して赤字見通しとなった。営業損失は 24 百万円 (前期営業損失 119 百万円)、経常損失 26 百万円 (同 119 百万円)、当期純損失 26 百万円 (同 134 百万円) である。男きもの事業における広告経費が当初予想に比べ増加し、女性用和装品の直販事業での販売経費負担増などが利益圧迫の要因となっている。

同社は純資産が 2014/12 期末に▲11,265 千円、2015/12 期 1H で▲38,706 千円と債務超過の状況にあり、コスト削減による収益改善や増資など資金調達による財務の立て直しが求められる状況にある。コストの削減については、新しい織機を 2 台導入し生産稼働率の安定化と操業度の向上を図り、工数の少ない高付加価値商品を企画・製造することで製品単位当たりのコスト削減に取り組んでいる。

業績推移

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F
売上高(百万円)	750.82	206.32	528.26	775
経常利益(百万円)	-7.38	-10.46	-119.79	-26
当期純利益(百万円)	-4.83	-6.99	-134.14	-26
EPS (円)	-20.12	-19.52	-259.41	-50.68
PER (倍)	-	-	-	-
BPS (円)	192.86	226.26	-21.76	-
PBR (倍)	2.70	2.30	-	-
配当 (円)	0.00	0.00	0.00	0.00

(※)2013/11/1に1:400の株式分割を実施。

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想は会社計画)

配当予想 (円) 0.00 (会社計画)
 株価(円) 520 2016/2/2(基準値)

会社概要

平成19年3月に日本和装HDの100%子会社として設立された。はかた匠芸は、日本和装グループ会社の中で製造部門を有する唯一の子会社として、織物を製造販売。主力は「博多帯」であり、日本三大産地のひとつである福岡県で織物の製造販売を行っている。

かねてより和装文化に関する豊富な知識を有する人材を「伝統文化テラー」として委任契約を締結、契約企業各社が商品販売する際には、「伝統文化テラー」が和装文化に関する知識を受講者へ適切に伝達することで、着物に関する「潜在市場の掘り起こし」に注力してきた。

平成21年1月に日本和装HD社の取引先倒産から、同社の博多帯の製造工場(株式会社匠芸)も倒産の危機にあり、はかた匠芸が匠芸の従業員を受け入れ、博多帯の製造工場の運営に携わることとなった。以降、はかた匠芸は、日本和装グループにおいて、帯の製造部門を有する会社としての位置付けとなった。

平成24年3月に商号を日本和装ホールセールズ株式会社から現在の株式会社はかた匠芸へ変更している。

企業データ



主要株主(2015/6/30) (%)

1.日本和装ホールディングス株式会社	77.23
2.株式会社 井上	1.93
3.外市 株式会社	1.93

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹

hiroki.i.hara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

日本和装ホールセラーズとして
2007年に創業

■沿革～2007年に創業

同社(旧商号:日本和装ホールセラーズ株式会社)は、平成19年3月に設立された。当時の和装業界は、一部企業による「過量販売」に関する報道の影響等を受け、長年にわたり業界に従事し和装文化に関する豊富な知識と経験を持ちながら、十分に発揮できる場所を見出せない人材が多くいた。

このような状況にあつて、同社親会社である日本和装ホールディングス株式会社(以下「日本和装HD社」という。)は、和装文化に関する豊富な知識を有する人材と委任契約を締結し、「伝統文化テラー」と称して日本和装HD社の運営する各種教室のカリキュラムの中で、契約企業各社(日本和装HD社と販売業務委託契約を締結した全国の着物・帯のメーカー及び和装品全般の総合卸売業者。以下「加盟店」という。)が受講生に商品を販売する際に、和装文化に関する知識を受講者へ適切に伝達する役割を果たし、着物に関する「潜在市場の掘り起こし」に注力。

同社は、日本和装HD社の上述の取組みを専門に行う100%子会社として設立され、「伝統文化テラー」を日本和装HD社の運営する各種教室や催事及び加盟店各社が行う販売会等へ派遣し、和装関連商品の販売促進を主たる目的とする事業を行ってきた。その後、平成21年1月に日本和装HD社の取引先である株式会社後藤が倒産したことにより、株式会社後藤が所有していた博多織の製造工場(株式会社匠工芸)も倒産の危機にあつた。同年2月に株式会社匠工芸の従業員を同社へ移籍させ博多織の製造工場の運営に携わることとなり、同年9月に清算会社である株式会社後藤から株式会社匠工芸の土地・建物・設備を取得。以後、同社は帯の製造部門を有する会社として事業を行っている。

平成24年3月には、商号を日本和装ホールセラーズ株式会社から現在の株式会社はかた匠工芸へ変更。商号に製造する織物の産地「はかた」を明示し、「匠工芸」とすることでメーカーと認知されるようにした。

図表1【事業沿革】

年月	沿革
平成19年4月	日本和装ホールセラーズ株式会社(福岡市中央区)設立
平成19年7月	東京都千代田区丸の内へ本社移転
平成21年2月	株式会社後藤の倒産により、工場設備と従業員を継承し博多帯製造開始
平成21年3月	博多織物協同組合加入
平成23年3月	福岡県大野城市へ本社移転
平成24年3月	「日本和装ホールセラーズ株式会社」を「株式会社はかた匠工芸」へ商号変更
平成26年4月	博多織工業組合加入 男きもの専門店「SAMURAI」銀座本店(直営)、京都店(フランチャイズ)を出店し、男きもの事業を開始
平成26年7月	東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

■事業内容

(1) 直販事業

直販事業とは、同社が製造する帯等の製品や他社から仕入れた着物等の商品を直接消費者へ販売する事業。日本和装HD社の販売仲介によるものに加えて、工場内での販売がある。

① 日本和装HD社の仲介による販売

日本和装HD社が運営する無料きもの着付教室や各種イベントにおける同社製品及び商品の販売機会において、同教室の受講者や修了生に対し、同社製品及び商品を販売。2014/12通期において、日本和装HD社の仲介による販売高は、同社売上総額の約90%を占めている。

② 工場内での販売

工場内の展示場スペースを活用し、工場見学を中心とした講義を交えた消費者への直接販売を行っている。同社工場で帯の製造工程を「教える」または「伝える」ことで、その伝統的な技法や価値に対して消費者の理解を深めることができ、購買に結びつくものと同社は考えている。同社では、一般の顧客がいつでも工場見学できるよう体制を整えている。また、同社ホームページ上では、博多織の製造工程の動画も公開。インターネットによる販売も行っている。

主力事業の直販、工場内の販売

図表2【同社製品】



(出所:会社資料)

同社は工場内に手織り、機械織りなどの機(はた)を保有しているが、機を変えることで、一人の職人が数種類の帯を製造することが可能である。特に、手織りの機を数多く保有し稼働させていることが特徴である。同社製造の手織りの帯の特徴は、「絹鳴り」の音にあるものと考えている。この「絹鳴り」の音と独特の結び味は、与信費用比率密度の高い経糸(たていと)と太い緯糸(よこいと)、さらに上質な絹糸ゆへの醍醐味と言える。武士や庶民の実用の帯として発展した博多織は、今ではデザインも多様化され、使いやすく、結びやすく、そして美しい帯として製造されている。

図表3【手織り機～各機で違った帯ができあがる～】

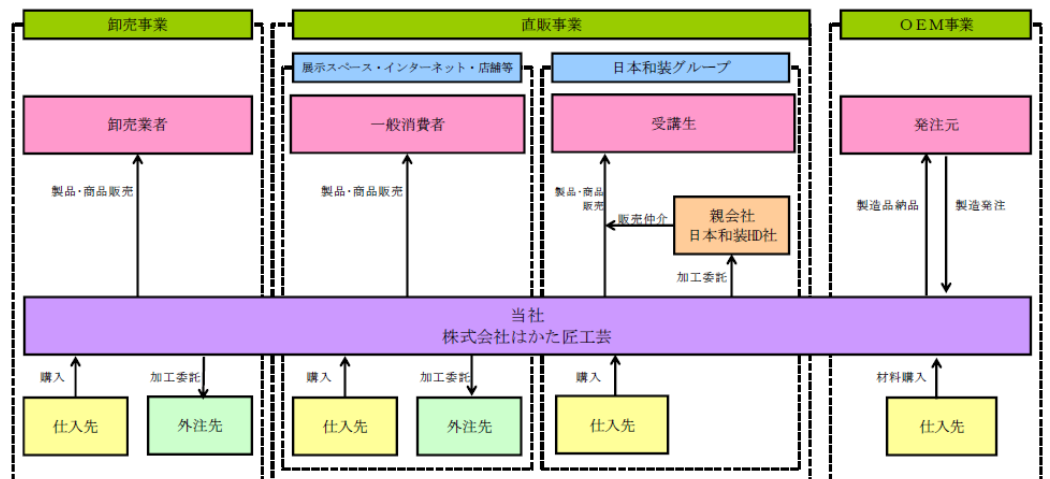


(出所:会社資料)

(2) 卸売事業

卸売事業は、同社で製造している「博多織」を中心とした和装品全般の製造卸となる。生産量の少ない博多織であり、また、手織りの技法でも製造される同社の帯は、機械織り中心の他産地との差別化が図られている。

図表4【事業系統図】



(出所:会社公表資料)

男きもの市場を最重点市場とする方針

図表5【重点施策として販売を開始した「男きもの」】



(出所:会社資料)

2014/4に開業した直営の男きもの専門店

図表6【直営の男きもの専門店「SAMURAI」1号店(銀座本店)】



「SAMURAI」
店舗外観イメージ

男きもの専門店「SAMURAI」を東京銀座歌舞伎座正面に開店。「SAMURAI」は、きものや帯の製造工場を持つ同社の直営店として、男性向けの和服のみを販売。そのため、オリジナルの男きものシリーズ「KATANA」では、余分な流通マージンを排除したリーズナブルな価格設定を実現。同社は今後、男きもの市場の拡大を目指しており、「SAMURAI」の開店は、その第一歩と位置づけている。

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」（以下「特例」）第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。